



2016.4 VOL. 5

編集/社会福祉法人ポポロの会
〒581-0856 大阪府八尾市水越2-81
理事長 樋渡 輝子
TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322
Mail star@popolo.or.jp
HP http://www.popolo.or.jp



2015年度

はつたつしょう

ししやしえん

発達障がい児者支援シンポジウム

まん いん おん れい
満 員 御 礼

2016/1/23

やおしどんかかいかん
八尾市文化会館

(プリズム小ホール)

はつたつしょう

こ

発達障がいのある子どもたちが

すこ

く

こと

健やかに暮らす事ができる

ちいさしゃかい

地域社会をめざして

しゆさい しゃかいふくしほうじん かい
主催 社会福祉法人ポポロの会

きようざい はつたつしょう かい や お
共催 発達障がいの会・八尾

こうえん や お し おおさかふきよういくいいんかい や お しきよういくいいんかい
後援 八尾市 大阪府教育委員会 八尾市教育委員会

おおさかじへいししようきようかい や お ししろう じしやもんだいきようざいかい
大阪自閉症協会 八尾市障がい児者問題協議会

P1 シンポジウム風景 ^{ふうけい} P2 シンポジウム P3 シンポジウム P4 ラボロー (課外活動) ^{かがいかつどう}

せいかつかいご しんじぎょうしよししようかい し がいしゆつ いいんかい へんしゅうこうき
P5生活介護 P6新事業所紹介・お知らせ P7外出レク P8委員会・編集後記

1984年8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

「発達障がい児者支援シンポジウム」

1月23日プリズムホールにて「発達障がい児者支援シンポジウム」が開催されました。これは、「発達障がいのある子どもたちが健やかに暮らすことができる地域社会をめざして」をテーマに、阪南病院の松島章晃先生と梅花女子大学の伊丹昌一先生をお招きして講演をして頂き、その後、シンポジウムとして「医療・教育・福祉の連携の必要性について」というテーマで堺市発達障がい者支援センターの阪口久喜子先生、ポポロの会から重野総合施設長がパネリストとして事例発表を行いました。

基調講演

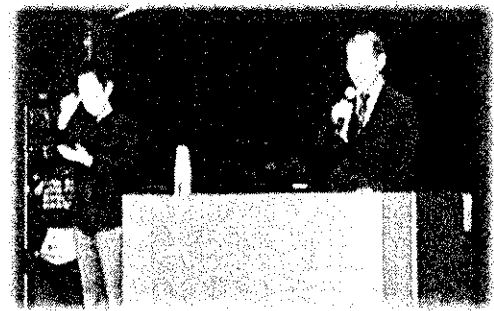
松島先生には「医療現場からの現状と課題」についてお話を頂きました。病院に来る患者さん



松島章晃先生

で、うつ病不安症、拒食症の中に発達障がい

が潜んでいる場合があり、主訴とは違ったかたちで発達障がいが発覚するといふ現状があるといます。本人や家族から様々な情報を得ることができない場合、

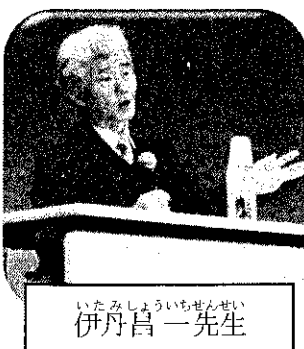


家族や本人のニーズに合わない診断につながる可能性があるとのことです。家族、関係機関の支援の方向を同じにするための指針が診断であると言えます。家族、関係機関からの情報を整理し、本人にはどういったつまづきがあり、どういった支援が必要となるのかを考えていかなければいけないと思われま

課題となってくるとお話されてい

伊丹先生のお話では、「教育における発達障がい児支援の現状と課題」についてお話して頂きました。障がいのある子どもが地域にある学校の通常の学級で、障がいのない子どもと共に学ぶことである「インクルーシブ教育システム」の重要性についてお話されてい

ました。文章の読み上げソフトや、漢字にカナを振ることなど、その子どもの学習に必要なことをそろえることが大切です。しかし、学校や保護者に過度な負担を強いるような支援は、極端な特別扱いになつてしまい、子どもの自尊心を低下しかねま



伊丹昌一先生

せん。そのために「支援のユニバーサルデザイン化」が必要だとお話されていました。支援のユニバーサルデザイン化の例として「授業の流れを具体的に示す」「簡潔かつ具体的に指示する」など、どの子どもであっても理解しやすい授業を行うことで、障がいのある子どもだけが特別扱いされているという気持ちは軽減されるのではないかとお話されていました。また、教育の実践課題として「個のニーズに応じた配慮、支援」と「個に応じた支援を可能にする学級・授業作り」の2本柱が重要だとお話されていました。支援が必要な子どものニーズに合わせて授業を行いたいと思っても、それに対応できるような環境が整備されていないと子どもにとってよい支援はできません。支援が必要な子どもが、落ち着いて授業を受けることができるように、子どもにやってほしいことが手順書として明示されていることや、分からないとき、間違い、失敗を否定的にみない学級の雰囲気作りが必要であるとのお話されていました。

シンポジウム

最後にシンポジウムでは、阪口先生、重野総合施設長より事例発表で、医療・福祉・教育等、関係機関による連携の重要性をお話させていただきました。発達障がいは、目に見えない障がいです。考え方が違っていたり、その人なりの特性があります。だからこそ一人一人をしっかり観察し、関係機関同士での情報共有を行い、その人に合った支援を行うことが大切であるといえます。



先生 喜子 久 阪口



なお、このシンポジウム開催にあたり、多くの方々にご協力を頂きました。先生方の講演の手話通訳をしていただきました、八尾様・松中様・西岡様、ビデオ撮影をしていただきました、島本様、長時間のご協力ありがとうございました感謝申し上げます。

300人近くと我々職員予想を超える大勢の方にお越しいただき、皆様の関心の高さがうかがえました。これからも社会福祉法人の役割として地域社会に課題を提案し、一人でも多くの方に発達障がいについて理解をして頂けるよう取り組みをすすめてまいります。



【就労支援事業部】

就労継続支援B型事業

ラボロ

白浜旅行♪

3月5日〜6日に、ラボロ初の二泊二日の旅行に行きました！ウキウキわくわく♪梅干し体験や白浜観光、アドベンチャーワールドなど、色々な体験が出来ました。ホテルでは、温泉に入ったり、おいしいご飯を食べたり、カラオケをしたり、ランプをしたりしました。この二日間、みんな楽しんで過ごせました。この二日間、みんな楽しんで過ごせました。この二日間、みんな楽しんで過ごせました。素敵な思い出になったでしょうか？

素敵な時間をありがとうございました♪



白浜旅行



おいし〜♪

【児童発達支援事業部】

放課後等デイサービス「タクト」

新事業所「タクト」が始まります！

4月から児童部に「里の風（どれみ）」「かのん」に続き中学生を中心とした事業所「タクト」が誕生します。「タクト」という事業所名には、『私たちスタッフが指揮するのではなく、指揮者



やおしたかみちよう しんちくいっこだ
八尾市高美町 / 新築一戸建て



プレイルーム

を迎えた子どもたちには心も体も大人に近づき、不安定になりがちで、思春期ならではの課題もたくさんあります。それらについて私たちがまだまだ学ば

(主役)は子ども達一人一人であり、子どもに合わせ、周囲の学校や、地域社会が変わっていく』という意味が込められています。「タクト」から徒歩約5分の所には、通称「ロボット公園」や、八尾市立障害者総合福祉センター「きずな」等の施設利用も可能であり、良い立地で支援の幅が広がると考えております。また、「タクト」に限らず、ポポロの会の児童デイサービスは、マンツーマンで療育支援を行っております。その理由は、自閉スペクトラム症の子どもたちは一人一人の状況に大きな違いがあるため、きめ細やかな観察を行って変化に気づき、対応出来る事を大切にしたいからです。特に思春期

ねばなりません。今後の進路について本人や保護者の方と共に考え、子どもの将来に備えるためにも学校等関係機関との連携を強化することも重要だと考えています。みなさま今後ともよろしくお願いたします。

お知らせ

発達障がいに関する学習会

どなたでも自由に参加できます。

日時 平成28年4月21日(木) 19時

講義「障害者差別解消法施行に

おける学校との連携

平成28年5月19日(木) 19時

事例予定

《場所》八尾プリズムホール4階研修室

《費用》参加費無料・資料代500円

《主催》発達障がいの会・八尾

社会福祉法人ポポロの会

《お問い合わせ》ポポロの会 里の風

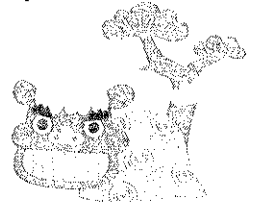
Tel 072-940-3321

Fax 072-940-3322

※申し込み不要、直接会場へ

【地域生活支援事業部】

一年のはじまりはここから、



二〇一六年一月二日、八尾の天満宮へ初詣に出かけました。今年の正月は温かく、良い気候でした。八尾駅前顔と顔を合わせると、「あけましておめでとうございます」の挨拶をそれぞれ交わしました。お正月モードのファミリールードを歩いていき、天満宮に到着。お賽銭を入れ、参拝を済ませた後は、皆さん笑顔で記念撮影。新年スタートをいい形で切ることができました。それぞれの願い事が叶いますように、また、今年もグループホーム職員、世話人一同、利用者さんの支援に頑張っていこうと年頭に思った次第です。

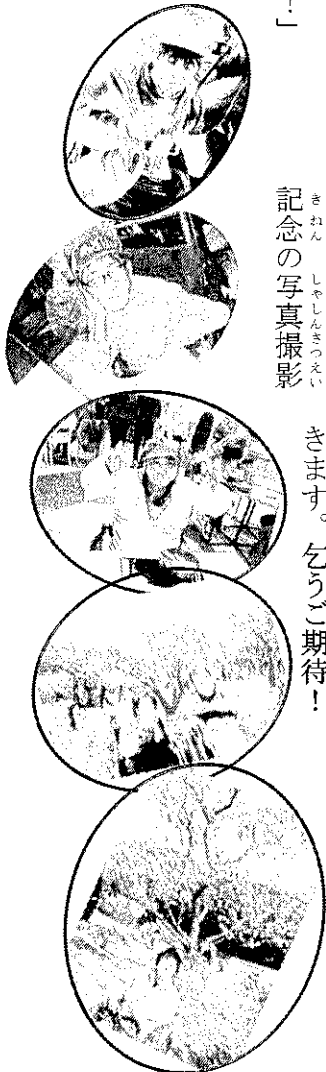


エキスポで春を満喫



三月五日土曜日、五つのグループホーム合同で、今話題のエキスポシティへ行って来ました。去年から利用者さんの間で希望の上つていた場所です。この日は上々の天気気温も高く、絶好のお出かけ日和でした。グループホームのレクは天気に恵まれることが多く、皆さんの日頃の行いの賜物ですね！到着して、少し早目の昼食を摂ることにし、「ららぽーと」のフードコートへ行くと、天丼、オムライス、ラーメン・・・色々なお店が並んでいて、皆さんそれぞれ好きな料理を堪能することができました。食事を終えて外に出ると大きなガンダムが並んでいたのです。まずは、「はい、チーズ！」

記念の写真撮影



昼食を終え、お待ちかねの水族館、(ニフレル)へ向かう予定となっていました。この日は絶好のお天気でもあり、予定を変更。公園内へ足を運ぶ事となりました。万博公園とい

えば、有名なのは太陽の塔。ここでも皆さんの記念撮影。園内を散策していると、きれいな花々が咲き誇っていました。公園では現在梅が見ごろとなっており、梅林へ一歩入ってみると・・・とても良い梅の香りが広がってきました。素敵な春の陽気な季節を満喫することができました。

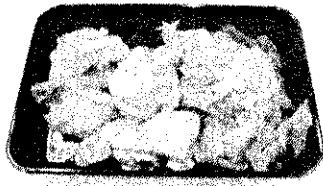
散策も終えて皆さんが向かった先は売店。お菓子やキーホルダーを買ったり、ソフトクリームを美味くいただいたりと、それぞれがいい思い出を作ることができました。次回のレクリエーションも皆さんと相談しながら考えていきます。乞うご期待！

【給食委員会】



給食委員会は、里の風で食事をすすべての方が美味しく、安全に食事が出来るように平成27年4月に再発足しました。毎月1回、現場職員と厨房職員の会議では、日々の

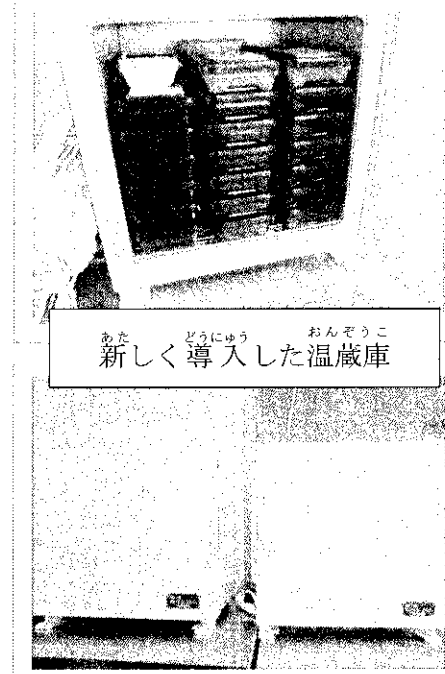
食事に貢献できるように色々な確認作業や話し合いを行っています。現在、主に利用者様の障がいに合わせて食事形態の見直しや介助食器の提案や導入、古くなつた食器を新しいもの



や体格・活動量・本人の希望など、あらゆる視点から主食量の調整を行い、肥満傾向にある利用者様の方への健康保持対策の一つとして

と厨房が情報共有し、日々の身体状況の変化に気を配りながら改善を行っています。特に給食メニューの見直しは、各利用者様の方の年齢

【発行人】関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二一一 東興ビル四階 《定価五〇円》



新しく導入した温蔵庫

取り組んでいます。また温かい物を温かく食べられる様に温蔵庫を導入し、好評をいただいています。今後も皆様がい美味しく、安全に食事が出来るように努力してまいります。

編集後記

この春、今までの環境を離れ新たなステージへスタートを切られた方も居られると思います。友人や恩師との別れの寂しさと新たな環境への期待。そんな相反する感情が入り混じつた季節。桜の蕾がほころび出した頃、里の風の隣にある小学校・中学校では毎年、卒業式が行われご両親・先生方が子ども達の成長に感動する涙や子ども達の期待にあふれた声が聞こえてきます。しかし、この声もう聞こえなくなるので寂しいです。小学校は、142年という長い歴史を閉じ隣の小学校・中学校と三校一緒に小中一貫校を開校し新たな歴史を刻んでいく様です。その頃には、校庭にある桜も満開をむかえ散っています。一期一会という言葉がありますが、人の出会いと別れは、短い期間だけ出会える満開の桜の花の様な儚いものかと思えます。さて、ポポロの会でもまた、さまざまな別れと新しい出会いが訪れた。この春の出会いが新たな風をポポロの会に心地よく吹かしてくれることを期待しつつまた、新たなステップへと旅立つ利用者さん・仲間への旅立ちを惜しみながら、新年度を迎えています。皆様にもこの春良き出会いがありましたでしょうか？



1984年8月20日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行



社会福祉法人ポポロの会
〒581-0856 大阪府八尾市水越2-8-1
TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322 Mail star@popolo.or.jp

<http://www.popolo.or.jp>

ポポロの会 検索